

選拔應召兵士慰安の爲め

當地藤本正男氏美舉

ラヂオ三臺と蓄音機一臺を購入し

本社を通じてス兵營訓練所に寄贈

MAY 26 1941

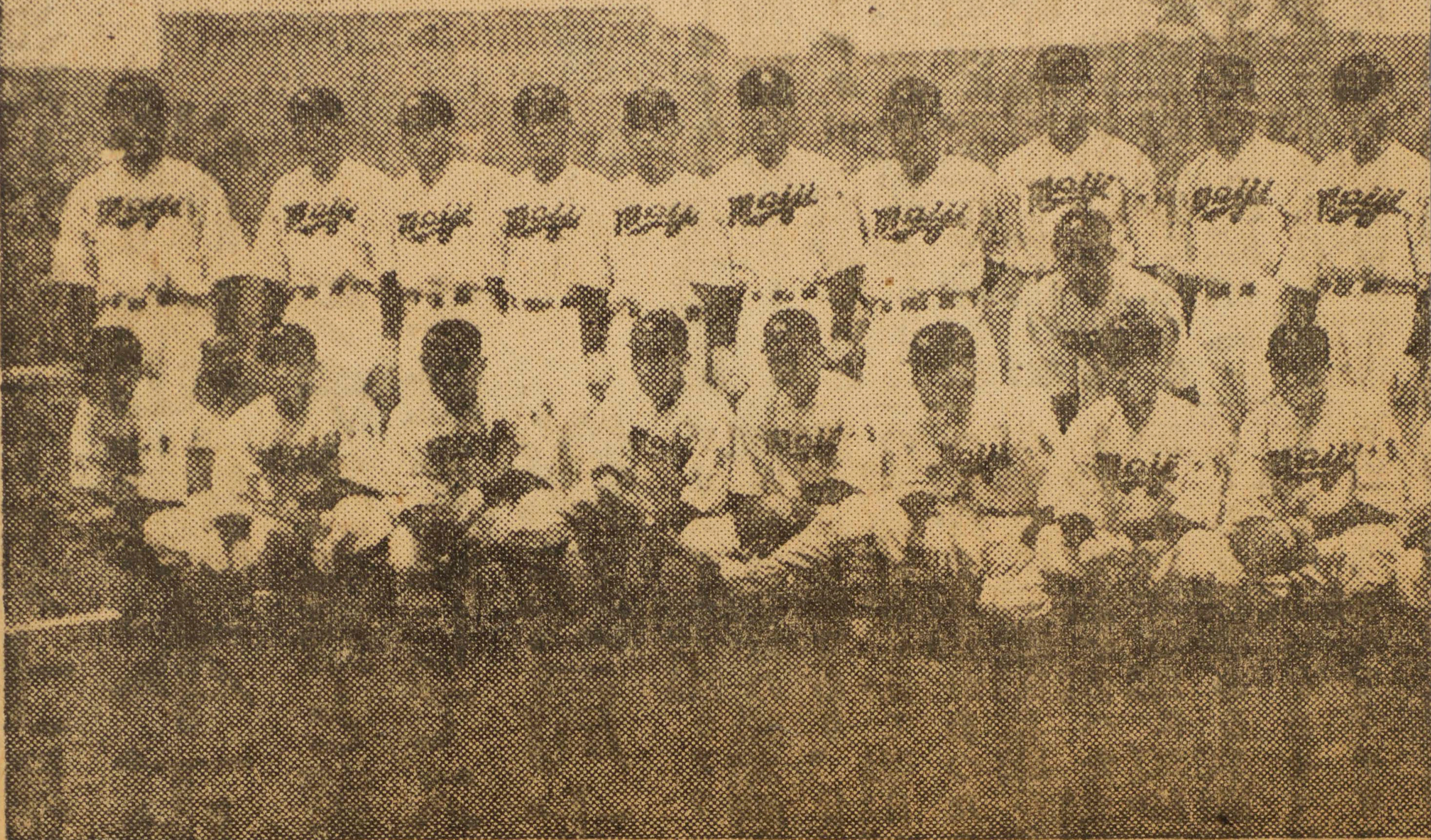
徵兵局本部で厚意に感激

スコーフイルド兵營選拔應召兵訓練所の娛樂ホールに上等ラヂオが一臺欲しいとの應召兵の希望が去る廿二日の本紙に記載された處早速篤志家が出現して本社取次ぎに依り本日國民武庫内の選拔徵兵局本部に於てこれが寄贈が行はれ應召兵一同の慰安に供せられる事となつた、右の篤志家は當市

デリンガム大通りアラココ街四三六番地の薪炭卸商店藤本正男氏であり、廿二日の本紙記事を見て翌日本社へ電話で照會があつたので本社では早速徵兵局の意向を聞いて之を傳へた處藤本氏より國家の爲に軍務に服してゐる名譽ある米國軍人に淋しい思ひをさせてはならぬから喜んでラヂオを寄

贈したいとの申し出があり之を當局へ折り返し傳へた處藤本氏の篤志に對して頗る感激してゐた、藤本氏は同じ寄贈するならば新しいのを寄贈したいとけさべレタニア街の中山ラヂオ店に赴きチューブドアの長波五球蓄音器兼用型三臺とアー

ル・シー・エーの七球全波蓄音器兼用型一臺の四臺及び、布哇音樂及び最新のレコード三十六枚を併せて購入寄贈する事となつた、藤本氏の徵兵局へ寄贈するラヂオ及びレコードは全部で價格百八十弗に上つてゐるが店主の中山功氏も藤本氏の奇篤な行爲に感激して原價に僅か一割を加算した特價で便宜を圖つたといはれてゐる



落下傘部隊に入隊したが今回のクレタ島攻略戦に加は
り落下傘部隊の一員として同島の某飛行場に樂々と着
陸した顛末をドイツ國內の放送は傳へてゐる

明大野球チーム

明治大學野球部一行二十名
は朝日野球隊の招聘で今夏
六月下旬來布するが、乗船
八幡丸の横濱出帆が二日遅
れることになつたのでホノ
ルル入港は六月二十八日（
土）正午頃となる豫定、一
行は部長赤神良讓、監督谷
澤梅雄、マネジャー宮坂達
雄、副マネジャー和田隆太
郎四氏以下選手十六名で副
マネジャーの和田隆太郎氏
は當市の和田隆氏の長男、
七年前太平洋學院卒業後渡
日して明大に入り、法科

を専攻、明春卒業する、選
手の顔觸左の如し【寫眞は
明大野球チーム】

▲投 手 藤本 八龍

▲林 義一

▲島 清一

▲小野 典二

▲松井 勳

▲塚越 源市

▲加藤 三郎

▲安井 龜和

▲宮崎 仁郎

▲河瀬 泰次郎

▲宮本 利學

▲御子 柴長雄

▲龜井 巖

▲内山 寅吉

▲河西 俊雄

▲原田 徳光

▲捕 手

▲一 壘 手

▲二 壘 手

▲三 壘 手

▲遊 撃 手

▲外 野 手

（主將）

P200.001